

「税金について考える」 そのきっかけを生徒の皆さんに!!



令和6年度 租税教室のご案内

「租税教室」とは、次代を担う生徒の皆さんが、国や地方公共団体の財政を支える税の意義・役割を正しく理解し、税を通じて社会の在り方について考えることを目的とした税の出前授業です。

租税教育推進協議会から講師を派遣し、授業の内容については先生方と打合せを行い、ご要望にお応えするようになっています。

租税教育推進協議会は、教育委員会や小学校・中学校・高等学校などの教育関係者と、国・県・市町村の税務・財務関係者及び関係民間団体等が協力して、租税教育の推進を図るために設けられた組織です。

Q1 講師は誰が？

税務署、県、市町村の職員、税理士、関係民間団体の役員などが、講師を務めます。

専門家ならではの視点で、生徒の皆さんの疑問などにもお答えします。

Q2 授業の内容は？

税の意義と役割、税の使いみち、税金の種類と仕組み、国の財政の現状など、授業内容は、先生のご要望に応じます。

Q3 授業の時期は？

ご相談に応じます。授業で税金のことを学ぶ前や学んだ後、卒業前でも構いません。税に関する作品の募集の時期に合わせて開催することもできます。

Q4 費用はいくら？

費用は一切かかりません。

授業で使用するスライドの一例



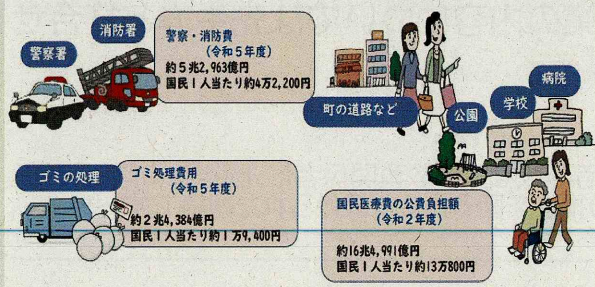
サラリーマン〇〇君の一日

今日のテーマ

- ・わたしたちの暮らしと税
- ・「公平」に集めるってどんなこと？
- ・日本の財政と課題

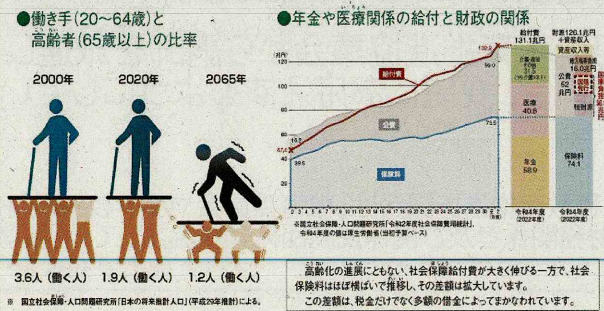
授業内容の一例

わたしたちの暮らしと税



わたしたちの暮らしと税

これからの社会と税



これからの社会と税

(参考)アクティブラーニング

先生からのご要望により、生徒自身に税を集めるための決まり(法律)を考えてもらうなど、アクティブラーニングに対応した租税教室を行うことも可能です。

授業を通じて、税についてより深く関心を持ってもらう良い機会ですので、希望される際は、租税教室の講師にお申し出ください。



授業風景

授業を受けた先生の感想

- 税金についてしっかり学んだのが初めてだった生徒が多かったため、受講して良かった。

授業を受けた生徒の感想

- 税金は生活に必要なものだから、できるだけみんなから公平に集めて適切な使い方をしなければいけないと思った。
- 自分が選挙に行くことで、税金の使い方、集め方も変わるかもしれないと知ることができた。